

Glocal Tenri



4

月刊 グローカル天理 Monthly Bulletin Vol.21 No.4 April 2020

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

CONTENTS

- ・ 巻頭言
入信するとは
／永尾教昭..... 1
- ・ 日本語教育と海外伝道 (21)
日本語教育でのコンピューター利用について④
／大内泰夫..... 2
- ・ キルケゴールで読み解く 21 世紀 (19)
「実存の三段階説」再考—実存の哲学的人間学のために
／金子 昭..... 3
- ・ イスラームから見た世界 (新連載)
おやさと研究所とイスラーム①
／澤井 真..... 4
- ・ 伝道と翻訳—受容と変容の“はざま”で— (22)
仏典翻訳の歴史とその変遷 ⑤
／成田道広..... 5
- ・ コロンビアへの扉—ラテンアメリカの価値観と教への伝播— (9)
4. コロンビアにおける日本人移民の話—その4
／清水直太郎..... 6
- ・ 遺跡からのメッセージ (56)
弥生時代を再考する⑩ 昭和から平成へ、知名度抜群の吉野ヶ里遺跡
／桑原久男..... 7
- ・ ヴァチカン便り (43)
二人の法王の存在：協調か対立か
／山口英雄..... 8
- ・ 思案・試案・私案
「碑」の字表記問題再考 (6)
／八木三郎..... 9
- ・ おやさと研究所ニュース.....10
2019 (令和元) 年度「教学と現代」報告 (金子昭)／新連載執筆のねらいと執筆者の紹介／マレーシアでイスラーム学に関する招待講演 (澤井真)／第 329 回研究報告会 (アダム・ライオンズ)／第 330 回研究報告会 (島田勝巳)／「出前教学講座」申し込み受付／2020 年度公開教学講座の案内

巻頭言

入信するとは

おやさと研究所長 永尾教昭 *Noriaki Nagao*

私は、1984年9月、天理教ヨーロッパ出張所（在フランス。当時の呼称はパリ出張所）に赴任し、2009年3月末をもって天理教教会本部に帰任した。この間、1995年7月からは所長の任を勤めた。計約25年間の在欧生活である。その経験を通して、私なりに天理教の海外布教のあるべき姿を探ってきた。この巻頭言をかりて、そのことについて順々に述べていきたい。

その前に「海外布教」あるいは「海外伝道」という言葉である。この言葉は、「日本人が日本以外の土地で布教する」ということを定義している。天理教の場合、韓国、台湾などはすでに同邦人が布教をしているので、彼らにとったら国内布教であり、この語は適当ではない。

そうではなく、天理教を「日本の宗教」と捉えて、日本以外の地に展開している天理教の姿を「海外布教」と捉えることもできなくはないが、日本で始まったが、日本の（あるいは日本人だけの）宗教ではない。普遍的な教えである、というのが天理教の姿勢である。したがって、やはり「海外布教」という語には違和感がある。バチカンは南米の布教を海外（あるいは国外）布教とは言わないだろう。

加えて、日本以外の国での布教を特段に取り上げる必要があるのか、という疑問がある。宗教の広がりには国家や人種という枠を考慮するのは明らかにおかしい。要は目の前の人とその宗教の信者か否かが問題なのである。しかし、敢えて「海外布教」を取り上げるのは、そこには天理教の独特の制度や教理、例えば「ぢばの理」といったものがあり、どうしても国家主権という問題が絡んでくるからだ。「異文化伝道」という表現もあるが、単に文化的な差異から惹起する困難さだけでなく、法律的、距離的な問題も考えていく。

そもそも、布教とはどういうことか。字

義通りに言えば、ある宗教の教えを布く、つまり広めるということだろう。そして、それを言わば得心させてその宗教に入信させるための行動を布教と言う。

では、入信するとはどういうことか。私は、過去に神社本庁の関係者と話をした際、「神道の信者数はどれぐらいか」と問うた。それに対して、彼は「全日本人が天皇陛下の赤子であり、神道の信者です」と答えた。つまり、日本人として生まれたら、本人が意識しなくても神道の信者なのだ。

これは極端な例としても、しばしば教団側の発表する信者数と、実際の数字には大きな開きがあると言われる。例えば日本の人口と言う場合、法律に定められた届け出という「縛り」がある。役所に届け出ている人を数えればよいのであり、はっきりする。

しかし、宗教は心の問題であるから、教団側が信者だと思っても、本人が信者ではないかと思っていたり、今日信者であっても明日信仰をやめて信者でなくなるといったケースが頻繁にあるからであろう。縛りを作りようがないのである。心の有り様、つまり主観的な事柄であり、そのため客観的な調査は不可能だろう。

ただ、緩やかな縛りを作っている教団はたくさんある。キリスト教なら、周知のように洗礼という儀式があり、これを受けた人を信者としている。浄土真宗の場合、寺の護持費（寺費）を納め寺の門徒台帳に登録されたら信者となる（浄土真宗本願寺派清水寺宝林寺ウェブサイト）。大本は入信報告書に玉串料を添えて提出するようになり、それぞれ縛りがある。

ところが、天理教にはこの縛り、言い換えればイニシエーションと呼ばれるものがない。これが、当然ながら講といった信者共同体を組織する際のオーソライズの問題になってくる。とりわけ海外では、この問題に直面することになる。